



福岡空港国際線ターミナル増改築計画



イメージ図

出所：梓設計・HOK・西日本技術開発 共同企業体

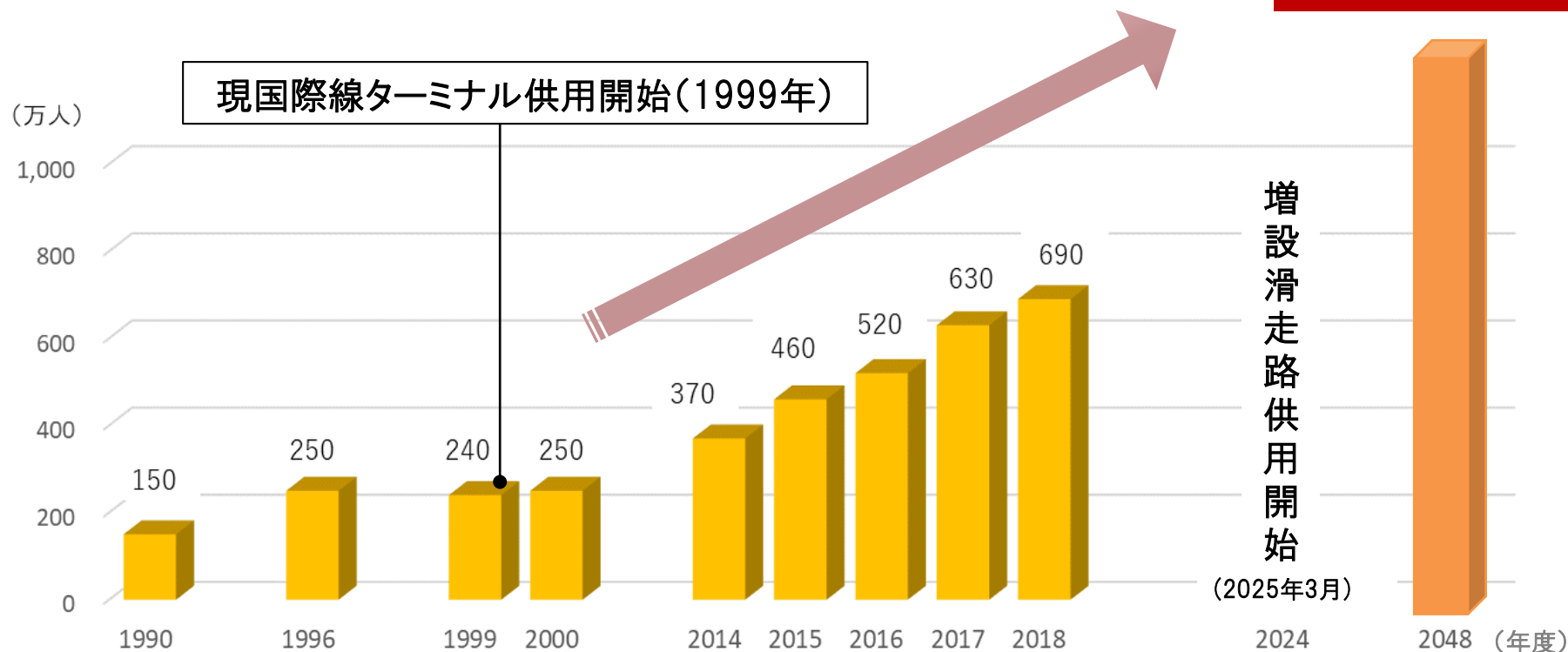
福岡空港の将来イメージ

「比類なき東・東南アジアの航空ネットワークを有する、東アジアのトップクラスの国際空港」

- 東・東南アジアの就航国数は日本一 14カ国・地域、51路線に就航
- 旅客数3,500万人（国際：**1,600**万人、国内：1,900万人）、100路線（国際：67路線、国内：33路線）
- SKYTRAXが実施するWorld Airport Star Ratingで世界最高水準の5スターエアポートに定着

福岡空港 国際線旅客数

1600万人



福岡・九州・西日本の玄関口として
多くのお客さまを心地よい空間でお迎えします

1. 空港ターミナル容量を拡大
 2. 利便性の向上と魅力ある施設づくり
- 空港サービスの質の向上に向けた3Fの改善



「楽に」



「早く」



「楽しく」

増改築計画の概要

北側コンコース延伸
PBB(旅客搭乗橋)を備えたコンコースを延伸

北側増築
出発・到着機能強化と免税店エリアを拡張

既存内部改修
自動化機器の導入

内陸連絡バス専用道の整備
内陸の移動時間を短縮

立体駐車場の整備
既存平面駐車場を立体化し駐車容量を拡大

アクセスホールの整備
到着ロビーの増床
二次交通機能の集約による利便性向上

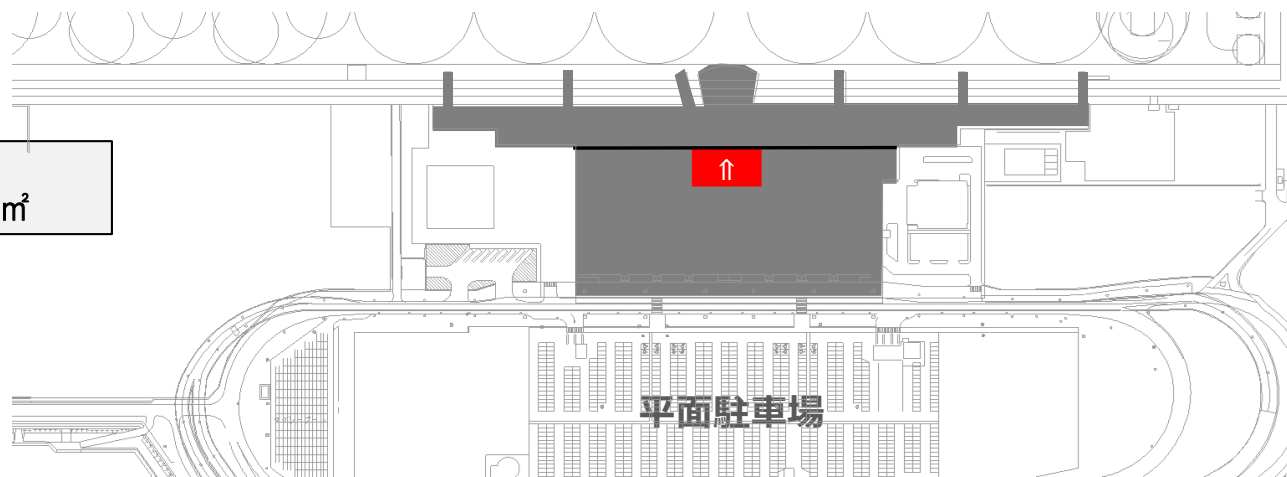
出所：梓設計・HOK・西日本技術開発 共同企業体

1. 空港ターミナル容量拡大

ターミナル拡張の概要(配置図)

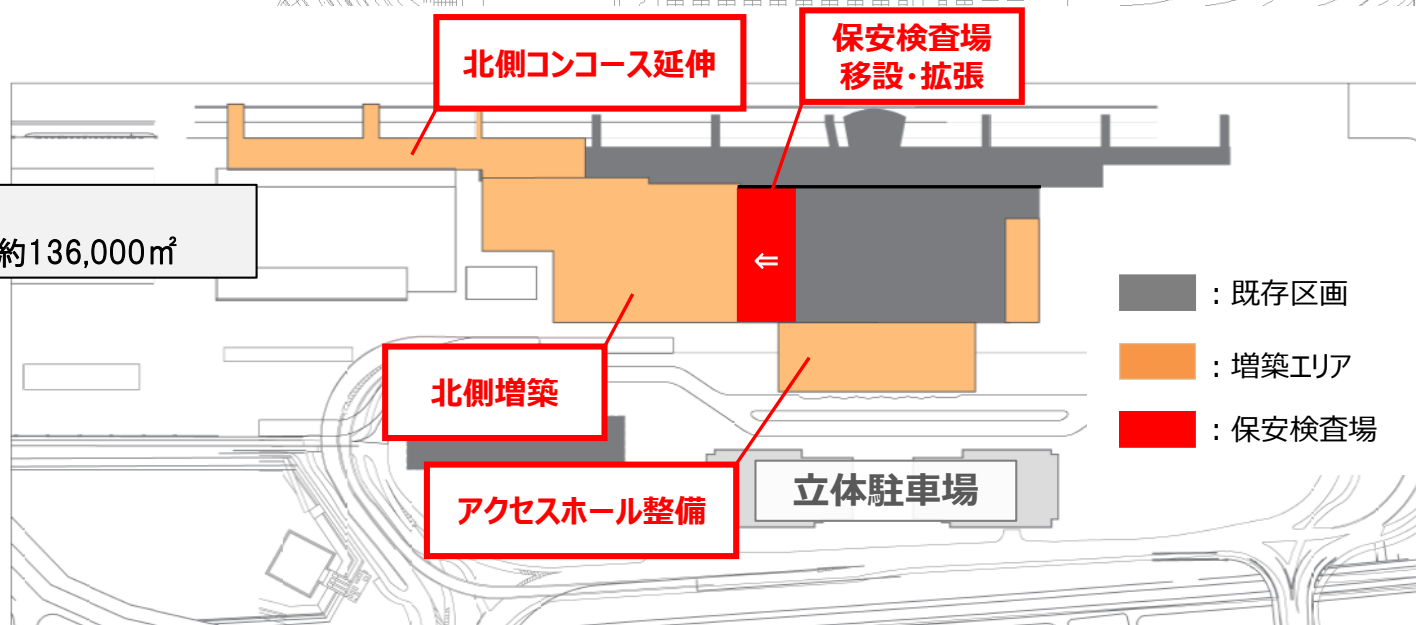
現 行

■施設概要
新築時延床面積 約73,000㎡



計 画

■施設概要
増改築後延床面積 約136,000㎡

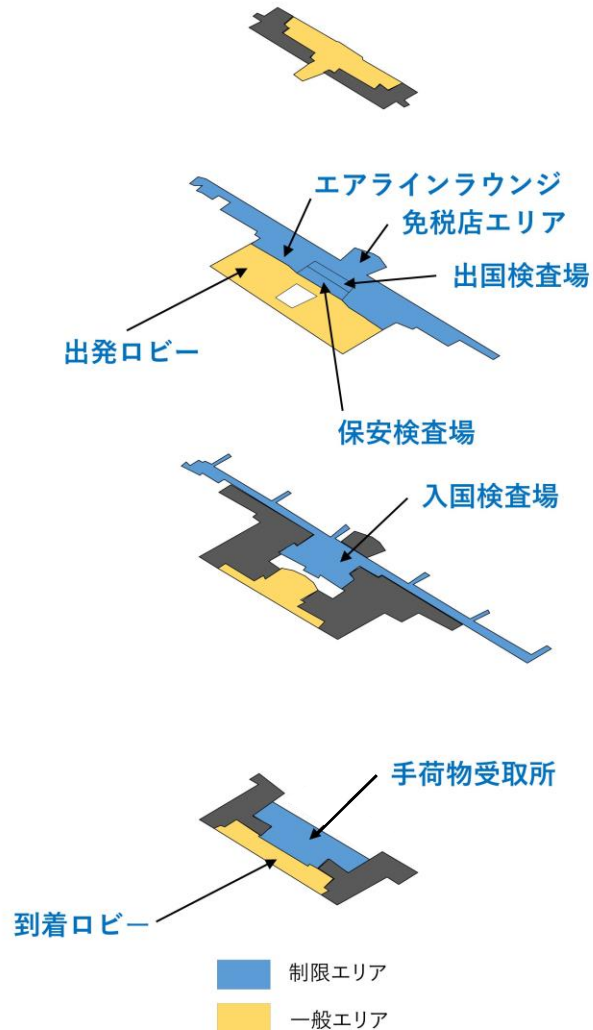


施設規模
約2倍

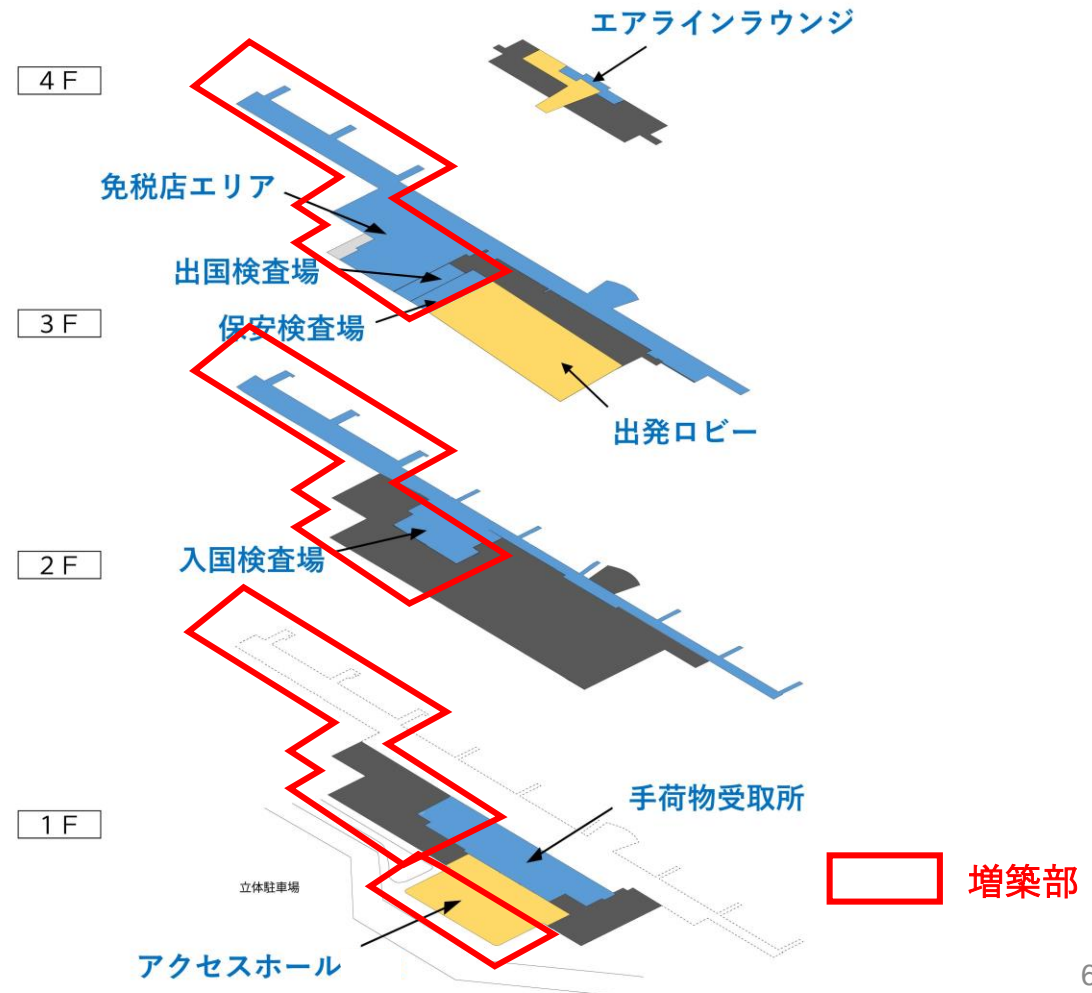
1. 空港ターミナル容量拡大

ターミナル拡張の概要(各階平面図)

現 行



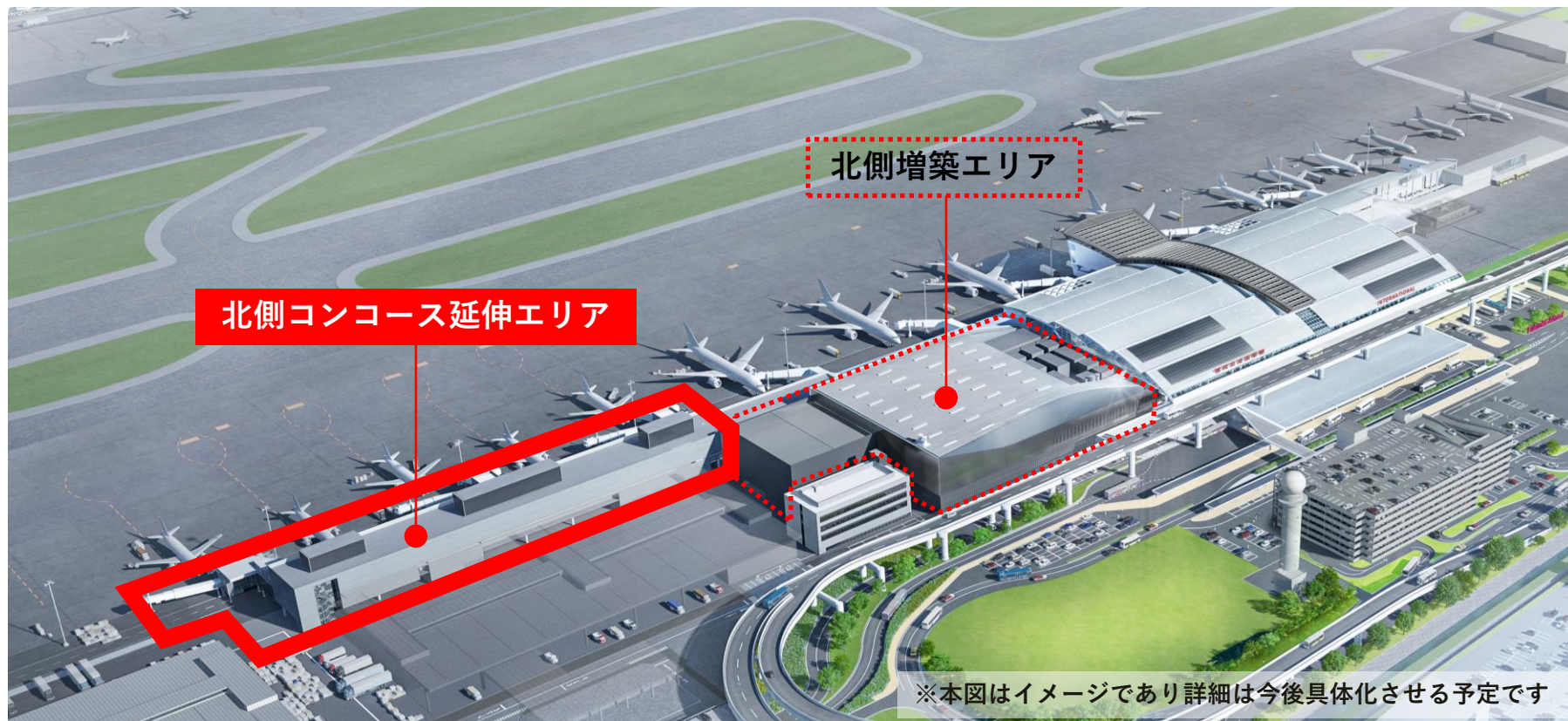
計 画



1. 空港ターミナル容量拡大

①コンコース延伸

これまでご不便をおかけしていたオープンスポット(小型機6スポット)に、PBB(旅客搭乗橋)を備えたコンコースを延伸することにより、スムーズな乗降と時間の短縮を実現します



※本図はイメージであり詳細は今後具体化させる予定です

出所：梓設計・HOK・西日本技術開発 共同企業体

現 行

計 画

PBB(旅客搭乗橋) 6基



12基

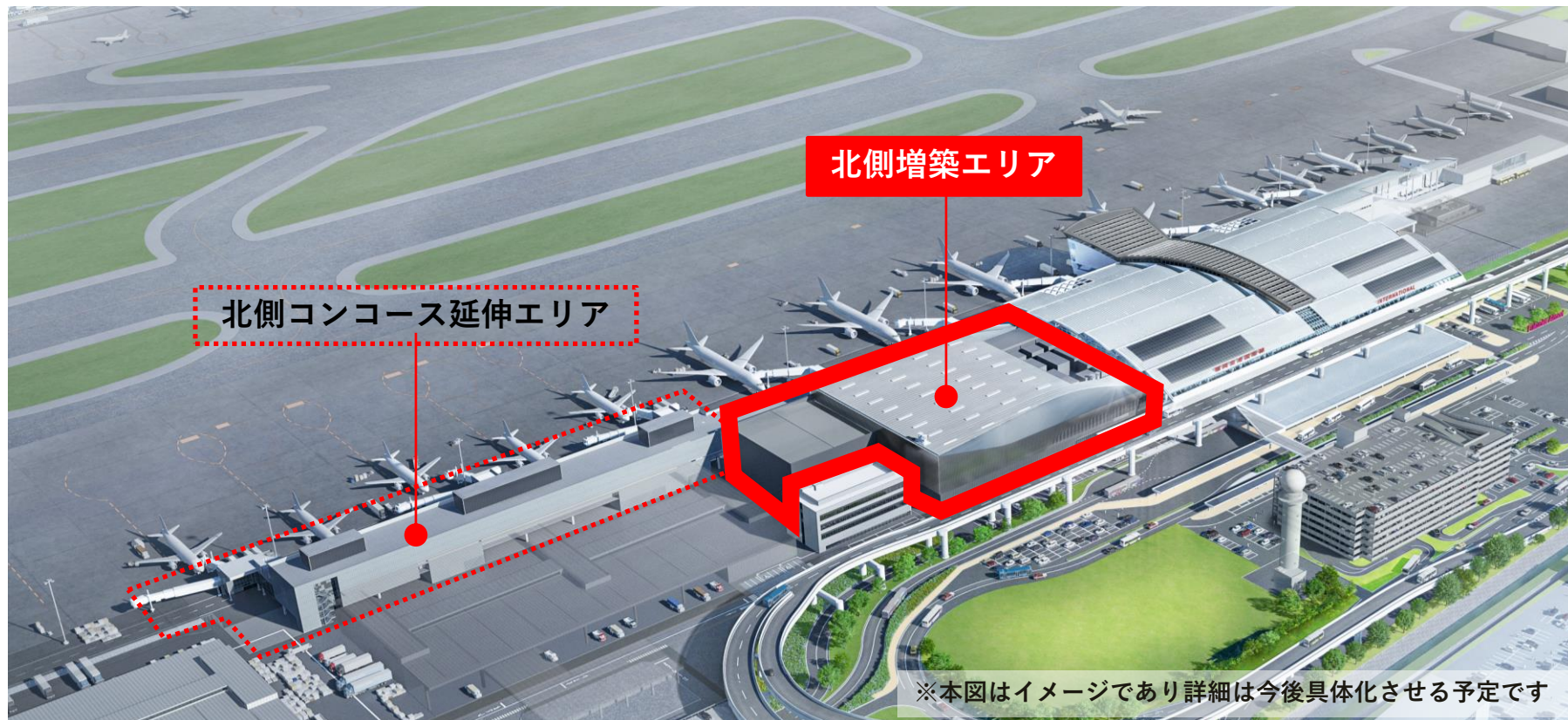
1. 空港ターミナル容量拡大

②北側増築

保安検査場を移設し検査機器を、到着手荷物受取所を拡大し到着手荷物受取コンベアを増設し、出発・到着の機能を強化します

出国検査場を抜けた先にはウォークスルー型の免税店やフードコートを展開し、買い物や食事を楽しめるエリアを充実します

カーボンニュートラルに向けた取り組みも行います



※本図はイメージであり詳細は今後具体化させる予定です

2. 空港サービスの質の向上に向けた3Fの改善

① 出発・到着機能の強化/時間短縮

出発ロビーを拡張し、自動手荷物預け機を導入



3階出発ロビー イメージ図

現 行

計 画

自動手荷物預け機新設 0台

6台

※旅客数の増加等に合わせて機器を増設予定

※本図は将来イメージです。

2. 空港サービスの質の向上に向けた3Fの改善

① 出発・到着機能の強化/時間短縮

保安検査機器や到着手荷物受取所コンベアを増設



※本図はイメージであり詳細は今後具体化させる予定です

出所：梓設計・HOK・西日本技術開発共同企業体

3階保安検査場 イメージ図

現 行

計 画

出 発 保安検査場検査レーン増設

※旅客数の増加に合わせて検査レーンを増設予定

6レーン

最大11レーン

到 着 手荷物受取所コンベア増設

4基

8基



手荷物受取所のコンベアイメージ

2. 空港サービスの質の向上に向けた3Fの改善

②免税店エリアの拡充 出国検査場通過後エリアに、品揃え豊かな免税店を展開



※本図はイメージであり詳細は今後具体化させる予定です

出所:船場

3階免税店エリア イメージ図

現 行

計 画

約1,500m²



約6,000m²

免税店エリア
約4倍

2. 空港サービスの質の向上に向けた3Fの改善

②免税店エリアの拡充

出国検査場通過後のにぎわいの演出と移動動線の中で
買い物を楽しめるようにウォークスルー型を導入
免税店エリアに隣接してフードコートを新設



※本図はイメージであり詳細は今後具体化させる予定です

3階免税店エリア イメージ図

出所:船場

ウォークスルー型免税店

免税店エリアに隣接してフードコートを新設

2. 空港サービスの質の向上に向けた3Fの改善

③アクセスホールの整備

到着ロビーを増床
二次交通への乗り継ぎを快適に



アクセスホール

※本図はイメージであり詳細は今後具体化させる予定です

出所：梓設計・HOK・西日本技術開発 共同企業体

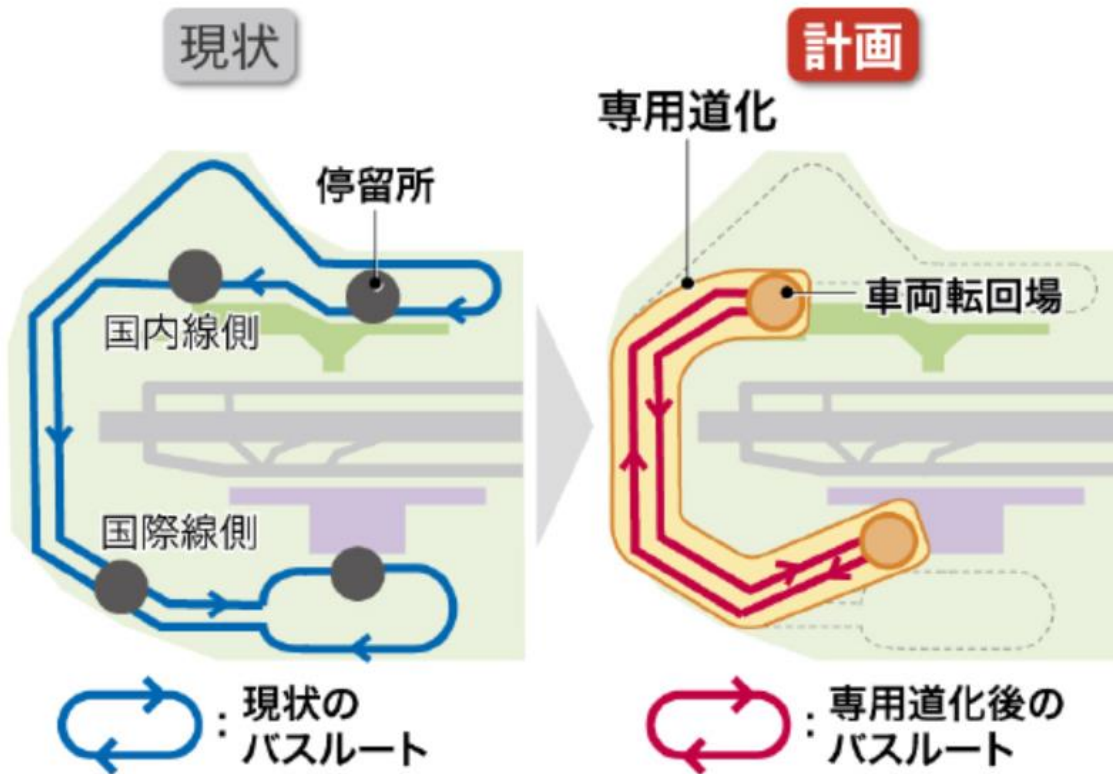
約4,000m²増築

2. 空港サービスの質の向上に向けた3Fの改善

④国内線・国際線連絡バス専用道の整備



国内線ターミナル(地下鉄)と国際線ターミナル間の移動時間を短縮



現 行

計 画

国際線から国内線への移動時間 15分



5分

2. 空港サービスの質の向上に向けた3Fの改善

⑤ 立体駐車場の整備

既存平面駐車場を立体化し、駐車容量を拡大
スムーズな駐車ができるように、駐車枠の満空表示や
予約システムを導入



計 画

イメージ図

出所：戸田建設

現 行

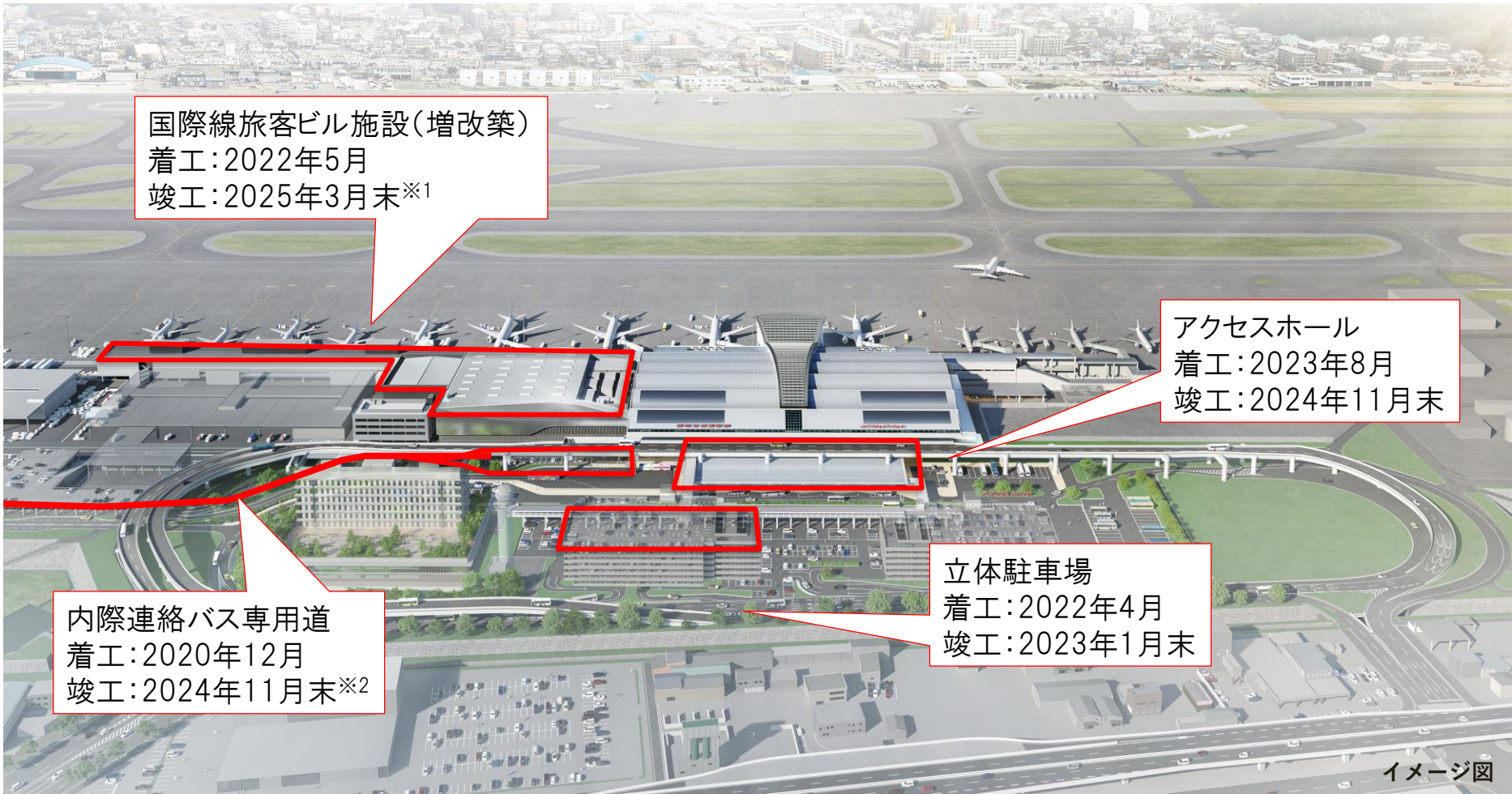
平面駐車場 897台

駐車場台数

約1,300台

立体駐車場	954台
平面駐車場	約320台

整備スケジュール(予定)



国際線旅客ビル施設(増改築)
着工:2022年5月
竣工:2025年3月末※1

アクセスホール
着工:2023年8月
竣工:2024年11月末

内陸連絡バス専用道
着工:2020年12月
竣工:2024年11月末※2

立体駐車場
着工:2022年4月
竣工:2023年1月末

イメージ図

国際線地区(2025年3月末の施設整備後イメージ)

出所: 梓設計・HOK・西日本技術開発 共同企業体

※1 既存の国際線旅客ターミナル施設の内部改修は2025年11月末竣工予定

※2 国内線地区バス乗降場は2025年整備予定